



グルモール

第3号

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2023 令和5年6月30日(金)

夏休みが終わって、子どもたちの学校生活がまた始まりました

校長 尾後貫 智

6月26日月曜日。ニューデリー日本人学校にまた元気な子どもたちが戻ってきました。夏休みが終わり、休み明けの子どもたちの表情はどうかと気になっていましたが、朝の全校朝会で体育館に集った子どもたちの姿はとても凛々しく立派でした。その姿にどの子も充実した夏休みをご家族と過ごしたことがうかがえました。以下、休み明け朝会で子どもたちに話した内容です。

夏休みが終わって、またみなさんの元気な姿が学校に戻ってきてとてもうれしいです。

休み前にお話した「よく考えて時間を使うこと」ができましたか。

私は、夏休み中にテレビを見ていて考えさせられたことがあったので、そのことをお話します。

みなさんも知っていると思いますが、今ヨーロッパのあるところで戦争が起きていますね。私が見た番組は、ウクライナの人々が戦争で家が壊され、毎日生活に困っている様子を日本の取材クルーが撮影したドキュメント番組でした。瓦礫の中で、雨露をしのいで生活している家族の中に、ちょうど小学4年生くらいの女の子がいました。日本のレポーターの女性がその子にインタビューしていました。

「今、何がしたいですか？」

私は、安心して休める家がほしいとか、水や食べ物がほしいとかそんなことを言うのかなと思っていたら、意外なことをその子は言いました。

「学校に行きたい。」

「学校に行って勉強がしたい。」

「学校で友だちに会っておしゃべりがしたい。」

といったのです。

でも学校はミサイルで破壊されてしまったので、学校に行きたくてもいけなくなってしまっていました。

みなさん、どう思いますか。ちょっと想像がつかないかも知れませんが、このようにウクライナ子どもたちの他にも学校に行って勉強したくても勉強ができない子どもたちが世界にはたくさんいるのです。

私はその時、「学校に行って、勉強できるなんてことは、かなりの贅沢なことです。」と、クイズ番組などでよくテレビに出てくるタレントの方が言っていたことを思い出しました。私も全く同感です。

さて、みなさんの学校が今日からまた始まりました。何も心配することなく学校に来て勉強ができるという「チャンス」を無駄にしない学校生活を送っていきましょう。

今年はコロナ後はじめて学校のプールを開放することができました。約ひと月間でのべ129名もの子どもたちとその家族の方が利用しました。7月26日には校内で水泳の記録会が行われる予定です。子どもたちが上達できるよう指導していきます。

また、7月は21日に予定している「ようこそJAPAN☆DAY」というBBS校との国際交流活動に向けて全校が動き出します。現地の子どもたちと直接交流できる有意義な体験にしていきたいと考えています。



トピックス



6月新たに9人が転入学！

6月26日、夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な姿が帰ってきました。
 全校朝会の中で転入生を迎える児童生徒会主催の「ナマステの会」がさわやかに行われました。前期の後半を新たな気持ちで過ごしましょう。



本校に2人目の通訳さん

これまで通訳として外部との連絡・調整の仕事をしていただいているミヌ・ラジプトさんに加えて、5月より新たにマニア・スーリさんが本校に赴任されました。

日本語・英語・ヒンディー語を話されますので、姿を見かけたら積極的にお話ししてください。午後2時から午後5時まで勤務されます。



◆児童生徒在籍者数（6月30日現在）

	男子	女子	計
小1年	10	13	23
小2年	15	11	26
小3年	7	12	19
小4年	9	13	22
小5年	13	15	28
小6年	10	9	19
中1年	13	10	23
中2年	10	3	13
中3年	5	10	15
スーリヤ	2	2	4
計	94	98	192